

あたしのいえ

あたしのいえは、いつせんまんえんしました。それで、じゅうまんえんずつひゃつかいげつぶだって、ママがいます。あたしのこどもができるころまでつづくんだそうです。

それから、あたしのいえには、ちゃんと、あたしのへやがあります。あたしのへやには、あたしのつくえやベッドもあります。おもちゃもたくさんかってもらいました。ごせんえんずつのげつぶよ、とママがいます。

それから、あたしのいえには、テレビもステレオも、ちゃんとあります。テレビはいつもテレビでいっているテレビで、ステレオもテレビでいっているステレオです。でも、レコードがありません。パパは、そんなものをきいているじかんがないからだよ、といました。

でも、テレビはいつもみているんですよ。パパとママはいつも、こまあしやるをみて、あれをかおうか、これをかおうかといいます。あたしはいつもあれにしよう、といますが、あまりきいてもらえないです。

いま、ママはくるまがほしい、とっています。あたしが、まえのがあるわよ、というと、ママは、あれはもうふるいのよ、といます。パパも、いちねんまえのくるまじゃ、まちをはしれない、といます。そこで、パパもママも、テレビやステレオとおなじにして、げつぶでかうことにしています。

あたしのいえには、にわがあります。にわには、きもあるし、しばふもあります。パパは、かれるといけなからだよ、と行って、きもしばふも、ふらすちつくにした、といました。あたしはやまにいったとき、きがはつばをおとしているのをみました。あんなのは、うちのきよりも、きつとやすものなんですよ。

それから、うちのいえにはどうぶつもいます。ねったいぎよとことりなんです。ねったいぎよはすいそうのなかで、いつでもおよいでいます。でも、よくしぬんです。かわいそうね、とパパにいうと、あんなものは、いつでもかかってこれるから、いくらしんでもいいんだよ、といいました。

それから、ことりはいつもなかなかいません。よくなくように、いつぴきにしているのになかないんです。とってもさみしそうなめをして、あたしのほうをずっとみているんです。どうしてなの、とママにきいても、ママはテレビをみていて、こたえてはくれません。それで、ことりをまどにおくときは、テープにとってあるこえをながすんです。

あたしのとりのうちはびんぼうにんです。テレビもステレオもきこえてこないからです。そのとなりのおうちには、とってもかねもちです。いつでも、ステレオやテレビがふたつもみつつもいちどになっているからです。

でも、いつかあたしのうちもそうなります。げっぶでかえるんです。パパもママもいつもいうんです。おまえも、かんりセンターから、げっぶでかかってきたこどもだって……。

（「チャチャ・ヤング ショート・ショート」掲載時の原文のまま）